



# 第11回やまぐち高校生県議会に 参加してきました！

岩国・柳井地域版

R7.11.17 開催



## 高校生県議会って？

次代を担う県内高校生に県議会の役割や県行政への理解と関心を高めてもらうため、平成27年度から実施されている模擬議会

### 【岩国・柳井地域の高校生議員の皆さん】

(周防大島高等学校)

木村杏奈さん 松根はるかさん

(高森高等学校)

庄司野乃花さん 白木麻皓さん

(熊毛南高等学校)

西岡莉沙さん 河内一真君

(高水高等学校)

西川真斗君 福山暖人君

山本幸太郎君

## 議長開会宣言

開会宣言する  
柳居議長

## 高校生議員の自己紹介

## 高校生議員からの質問及び執行部答弁

山口県では、若手医師の不足・減少が深刻化しており、今後、地域医療の担い手が不足する可能性があります。  
医師修学資金制度について、県外出身の医学生も新たに対象に加えるなど、制度の拡大や条件緩和は可能でしょうか。

質問をする  
山本議員

答弁する  
村岡知事

医師修学資金制度の拡大について、若手医師は、将来の本県の医療を牽引する人材であることから、その確保に向け、県内の医療機関での勤務を償還免除要件とする医師修学資金制度を運用するなど、重点的に取組を進めてきたところです。

今後、さらなる若手医師を確保するためには、お示しのように、県外出身者を含めた全ての山口大学医学部生に対し、山口大学や県医師会などの関係団体、医療機関等との緊密な連携の下、卒業後の県内勤務につながる取組を行うことが、大変重要であると考えています。

このため、県内医療機関の充実した臨床研修プログラムの魅力を発信し、県内で臨床研修を受けたいと思う山口大学医学部生をさらに増やすため、SNSの活用や医学部生を対象とした説明会の開催などを行っています。

さらに、臨床研修後も県内で継続してキャリアアップできるよう、関係医療機関が多様な専門研修プログラムを設け、専門医の育成体制を整備しています。

県民の皆様が安心できる医療提供体制を構築するため、地域医療を支える若手医師の確保に全力で取り組んでまいります。

山本議員（高水高）と河内議員（熊毛南高）が、  
岩国・柳井地域を代表して質問をしました！

山口県の農業従事者は減少しており、平均年齢も上昇しています。県では給付金や施設・機械導入支援を行っていますが、山口県の農業従事者を増やすには、県外から山口県で農業に従事する人に来てもらう取組を進める必要があると思います。

Iターン・Uターンを促し、農業に従事するのにふさわしい県であることをPRされていますか。



質問をする  
河内議員

農業従事者の減少対策については、市町等と連携し、募集から技術研修、就農、定着までの一貫した「担い手支援日本一」の取組を進めています。

県外からの新規就農者確保の取組を強化するため、大都市圏で開催する就農フェアや、県独自の移住セミナー等において、本県農業の魅力を参加者へPRしています。

また、就農を希望される方に対し、野菜や果樹産地を巡る見学ツアーを開催するなど本県農業の魅力を実際に肌で感じてもらえる取組を進めています。

さらに、御提案のありました、U・Iターンの促進に向けては、より山口県の農業の魅力を伝えることができるキャッチコピーを検討し、首都圏等でのイベントに活用するなどPR活動を強化しています。

山口県の農業を将来にわたって発展させ、若者に選ばれる魅力ある産業となるよう、一層、取り組んでまいります。



答弁する  
村岡知事

## 第11回やまぐち高校生県議会で可決された意見書

### 「高校生の通学にかかる費用の軽減を求める意見書」

教育の機会均等を実現するため、山口県内すべての地域で、地域の実態に応じた通学支援を導入することを求める意見書を高校生議員全員の賛成で可決しました。

(代表提案者:周防大島高等学校 木村 杏奈さん)



提案理由を説明  
する木村議員



全員で採決

## 決意表明

高校生議員を代表して、  
「ここでの学びと経験を胸に、  
これからも地域や社会の課題に  
向き合い行動し続ける。」  
「希望と責任を持って前に  
進み続ける」と決意表明しました。



決意表明する  
吉野議員

(決意表明者:宇部西高等学校 吉野 煌基君)

## 記念撮影

